



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月24日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス
 コード番号 8248 URL <http://www.nissen.info/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐村 信哉
 (氏名) 石畑 成人

TEL 075-682-2041

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成23年12月21日～平成24年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	118,179	17.2	△558	—	△149	—	△462	—
23年12月期第3四半期	100,873	3.1	1,324	24.7	1,536	2.4	716	△47.4

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △523百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 769百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△7.87	—
23年12月期第3四半期	14.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	108,903	29,215	26.8
23年12月期	76,019	25,843	34.0

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 29,191百万円 23年12月期 25,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年12月期	—	6.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成23年12月21日～平成24年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,600	29.8	2,450	△9.5	2,900	0.6	2,500	5.2	41.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) シャディ株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	63,473,832 株	23年12月期	63,416,332 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	10,285 株	23年12月期	12,635,975 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	58,851,492 株	23年12月期3Q	50,782,378 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) その他の注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年12月21日～平成24年9月20日、以下「当第3四半期」）における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に回復しつつあるものの、欧州の財政金融不安に伴う海外経済の減速や円高の長期化等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは最終年度となるニッセングループ中期経営計画「ニッセンビジョン2012」の経営方針に基づき、中長期的な企業価値向上を実現するために、1. 通販事業モデルの“磨き上げ”、2. 通販コア周辺領域での新規事業展開、3. グループ事業の構造改革とシナジー力アップ、4. 成長とリスクに対応できる財務基盤の強化、以上の4項目を主要な経営戦略と定め、鋭意取り組みを進めてまいりました。

当第3四半期では、株式会社ニッセンにおきまして、高付加価値を追求した戦略的商品として日本人有名デザイナーとのコラボレート商品第3弾「フリードエア・スウェット」を展開し、ネットとリアル融合を図った店舗事業のさらなる拡大のために平成24年9月28日に首都圏3店舗目となるスマイルランド千葉店をオープンいたしました。また、お客様への有益なライフスタイル提案力及びお客様ニーズに基づいた最適なサービス力を進化させるため、平成24年9月26日にカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社と、相互の事業発展並びに競争力強化に向けた包括的な業務提携について基本合意いたしました。さらに、通販コア周辺領域での新規事業展開の重点施策といたしまして、株式会社ニッセンの強みである顧客データベースを活用したマーケティング力とシャディ株式会社の持つ販売チャネルとマーチャンダイジング機能を組み合わせ、シニア市場の開拓を始めとする両社の強みを活かした新たな価値の最大化を目指して多岐にわたる試みに着手しております。

当社グループの主力事業であるコマース事業におきましては、株式会社ニッセンにおいて、下期運営方針のもと質的改善を重視してプロモーションコストを抑制したことや、長引く残暑の影響などにより受注が伸び悩みましたが、当第3四半期よりシャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の100%子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社）の損益計算書が連結対象となった結果、売上高は前第3四半期連結累計期間（平成22年12月21日～平成23年9月20日、以下「前年同期」）の実績を上回りました。利益面につきましては、シャディ株式会社において、売上が低調な季節性に加えて基幹システム入替による売上への影響やコスト増により期間損失が発生し、また株式会社ニッセンにおいて、気温が高めに推移したことにより秋物商品の動向が鈍く想定通りに売上が伸びなかったことによる限界利益の減少や、受注・配送コストの費用効率が悪化したこと等により、コマース事業のセグメント損益は前年同期の実績を下回りました。

ファイナンス事業におきましては、株式会社ニッセンライフにおいて、新規顧客獲得のためのチャネルや手法を随時見直し、対面希望者に対する訪問コンサルを強化する等、柔軟に対応したことによりマーケティング効率が改善し、売上高、営業利益とも前年同期の実績を上回りました。一方、持分法適用関連会社のニッセン・ジー・イー・クレジット株式会社において、債権回収率の良化に伴い貸倒関連費用が減少しており、また、過払返還請求についても継続的に減少しております。これに加え、従来から取り組んでいるコスト構造の改善が功を奏し、セグメント利益は前年同期の実績を上回りました。

その他事業におきましては、平成24年7月27日付にて株式会社ニッセンシェイプファンドの全株式を売却し、当第3四半期から同社が連結対象外になったこと等により売上高は前年同期の実績を下回りましたが、連結対象会社2社の業績が順調に推移したことからセグメント損益は前年同期の実績を上回りました。なお、事業構造改革の一環として一部事業を撤退しており、これにより発生した在庫処分による損失を事業撤退損として特別損失に計上しております。

以上の結果、当第3四半期における連結業績は、売上高118,179百万円（対前年同期増減率17.2%増 17,306百万円増加）、営業損失558百万円（前年同四半期営業利益1,324百万円）、経常損失149百万円（前年同四半期経常利益1,536百万円）、四半期純損失462百万円（前年同四半期純利益716百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比32,883百万円増加し、108,903百万円となりました。これは主にシャディ株式会社及び同社子会社2社の連結子会社化に伴う資産の受け入れによる増加であります。

負債は、前連結会計年度末比29,511百万円増加し、79,688百万円となりました。これは主にシャディ株式会社及び同社子会社2社の連結子会社化に伴う負債の受け入れや借入金の増加であります。

純資産は、前連結会計年度末比3,371百万円増加し、29,215百万円となりました。これは主に自己株式を処分したことによる増加であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、平成24年7月17日付「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で発表した数値から変更はございません。業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、利益面で前年同期の実績を大きく下回り、期初の見通しに反して厳しい状況でした。第4四半期につきましても、当社グループの主力事業であるコマース事業において、株式会社ニッセンの売上は当初見込みを下回って推移しており、またシャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の100%子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社）でも収益面で厳しい状況が続いております。

通期業績予想に関しましては、消費者の需要動向、景気の変動等の不透明な影響の十分な精査を行い、その修正が見込まれ次第、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、シャディ株式会社の全株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(3) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,100	3,239
受取手形及び売掛金	9,407	20,606
たな卸資産	15,779	22,866
前払費用	7,842	8,463
未収入金	8,007	8,032
その他	2,041	2,519
貸倒引当金	△163	△530
流動資産合計	48,014	65,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,789	14,460
その他(純額)	6,969	11,542
有形固定資産合計	17,759	26,003
無形固定資産		
のれん	902	829
その他	4,297	8,834
無形固定資産合計	5,200	9,663
投資その他の資産		
投資有価証券	4,129	5,863
その他	1,455	3,112
貸倒引当金	△537	△937
投資その他の資産合計	5,046	8,038
固定資産合計	28,005	43,705
資産合計	76,019	108,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,759	35,255
短期借入金	6,693	8,847
未払金	6,468	6,797
未払法人税等	72	183
為替予約	14	127
返品調整引当金	284	250
返品破損引当金	34	34
事業整理損失引当金	69	69
その他	3,705	8,026
流動負債合計	38,103	59,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
固定負債		
長期借入金	7,766	13,301
リース債務	3,818	3,744
退職給付引当金	—	1,534
その他の引当金	11	15
資産除去債務	253	291
その他	223	1,208
固定負債合計	12,073	20,096
負債合計	50,176	79,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,218	11,218
資本剰余金	11,240	11,240
利益剰余金	10,669	6,911
自己株式	△7,180	△5
株主資本合計	25,946	29,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△97	△44
繰延ヘッジ損益	△14	△127
その他の包括利益累計額合計	△112	△172
新株予約権	8	23
純資産合計	25,843	29,215
負債純資産合計	76,019	108,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月21日 至平成23年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年9月20日)
売上高	100,873	118,179
売上原価	48,156	62,035
売上総利益	52,716	56,143
返品調整引当金繰入額	293	229
返品調整引当金戻入額	221	249
差引売上総利益	52,644	56,163
販売費及び一般管理費	* 51,320	* 56,722
営業利益又は営業損失(△)	1,324	△558
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	67	27
受取手数料	132	51
持分法による投資利益	32	463
雑収入	169	176
営業外収益合計	410	731
営業外費用		
支払利息	114	227
雑損失	83	94
営業外費用合計	197	322
経常利益又は経常損失(△)	1,536	△149
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	26	56
段階取得に係る差益	87	—
新株予約権戻入益	0	0
負ののれん発生益	—	216
特別利益合計	115	273
特別損失		
固定資産除売却損	58	18
投資有価証券評価損	216	119
災害による損失	85	—
災害復興支援費用	325	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
事業撤退損	—	84
特別損失合計	847	222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	805	△98
法人税、住民税及び事業税	41	212
法人税等調整額	46	151
法人税等合計	88	364
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	716	△462
四半期純利益又は四半期純損失(△)	716	△462

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月21日 至平成23年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	716	△462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	52
繰延ヘッジ損益	37	△113
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	52	△60
四半期包括利益	769	△523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769	△523
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年12月21日 至平成23年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	95,998	1,403	3,470	100,873	—	100,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	254	—	7	261	△261	—
計	96,253	1,403	3,477	101,134	△261	100,873
セグメント利益又は損失(△)	2,141	△69	△40	2,031	△494	1,536

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△494百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△494百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった株式会社通販物流サービスの株式を追加取得し、連結子会社といたしました。これに伴い「コマース事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。

なお、当該事象による、当第3四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は23百万円、当第3四半期連結会計期間末におけるのれんの未償却残高は912百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年12月21日 至 平成24年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	113,302	1,447	3,429	118,179	—	118,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145	—	3	149	△149	—
計	113,448	1,447	3,433	118,328	△149	118,179
セグメント利益又は損失(△)	△328	699	△0	370	△519	△149

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、シャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「コマース事業」において、33,008百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「通販事業」、「金融事業」、「現販事業」を報告セグメントとしておりましたが、第2四半期連結会計期間より、「コマース事業」、「ファイナンス事業」、「その他事業」に変更しております。

この変更は、平成24年3月30日にシャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めたことで、当社グループに新たな事業が加わったため、報告セグメントの見直しを行ったものであります。

「コマース事業」は、従来の「通販事業」にシャディ株式会社及び同社の子会社2社を加え、カタログ媒体やオンラインショップを通じ、主に衣料品・生活関連用品の通信販売事業及び店舗や各種メディア(カタログ、インターネット、モバイル等)を組み合わせた「有店舗メディアミックス型ビジネスモデル」でギフト用品の販売、卸売等を行っております。

また、従来の「金融事業」については「ファイナンス事業」へ、「現販事業」については「その他事業」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントで記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「コマース事業」セグメントにおいて、シャディ株式会社の発行済株式全てを取得し、同社及び同社の子会社2社を連結子会社といたしました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては216百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年3月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分をユーシーシーホールディングス株式会社との間で実施いたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が2,609百万円減少するとともに、自己株式が7,175百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が6,911百万円、自己株式が5百万円となり、株主資本合計は29,364百万円となっております。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月21日 至平成23年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年9月20日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 17,463百万円	広告宣伝費 17,643百万円
運賃及び荷造費 2,811百万円	運賃及び荷造費 9,492百万円
給料 6,366百万円	給料 8,579百万円
販売促進費 5,318百万円	販売促進費 5,765百万円
支払手数料 11,443百万円	支払手数料 4,202百万円
貸倒引当金繰入額 207百万円	貸倒引当金繰入額 270百万円
	退職給付費用 135百万円